

2009 研究発表会 予稿集 目次

第1部 基幹研究

第1章 野外教育の哲学

第1節 学力観 領域

1. 情動の学習をベースとする新しい学力観(羽場睦美)

第2章 野外カウンセリング

第1節 教育心理 領域

1. キャンプにおける子どもの動機づけ(大森絵美子)
2. 子どもキャンプにおけるカウンセラー経験が保育者養成校の学生に及ぼす効果について(石沢順子)

第2節 心理カウンセリング 領域

1. キャンプにおけるホームシック対応(大森絵美子)
2. いじめを少なくする対策(山崎紗希)

第3節 生活カウンセリング 領域

1. 時間の有効利用について(杉山修規)
2. カウンセラーの留意点(杉山修規)
3. マネージメントの仕事の効率化(杉山修規)
4. 食前プログラム「朝づくり」の成果と課題(杉山修規)
5. 伊那谷こども村サマーキャンプ7・13組における子どもたちの健康管理(大森絵美子)
6. ヘルス・ディレクターとヘルス・リーダーのケース・スタディ(松本由紀)

第4節 グループ・ファシリテーション 領域

1. ワークショップにおける満足度・理解度・参加度の関係性(羽場大羅)
2. 全員参画型研修会の基礎研究 特徴と問題点 (奥村祐介)
3. 相談員が幼少期に体験した遊びの試行(山崎紗希)

第3章 キャンプ制度・組織論

第1節 キャンプ組織論 領域

1. 安全管理のケース・スタディ 川遊び中の緊急避難の事例 (松本由紀)
2. プログラム・ディレクターの役割(松本由紀)
3. カウンセリング・ディレクターとしてのケンカの仲裁法(小暮佳美)
4. フーズ・ディレクターとグループ・カウンセラー兼任のケース・スタディ(小暮佳美)
5. フーズ担当相談員の役割(一ノ瀬薫)
6. 相談員の枠割について多角的な視点と気づきが得られたキャンプ(松本由紀)
7. 夏キャンプ参加者申込書から見る参加者の傾向(奥村祐介)
8. 相談員のリピーターを増やすための方策(神谷知世)
9. 経験相談員と新人相談員の関わり方(神谷知世)
10. キャンプ主催者や活動内容の公表制限(神谷知世)

第4章 先端的野外科学教育の研究

第1節 自然資源利用史 領域

1. 「東海1号炉」鉄製錬実験の概要(松本建速)

第2部 領域開拓研究

第1章 自然の調査研究

第1節 動物行動論 領域

1. ニホンジカの移動と生息域拡大(樋口顕勇)
2. ニホンザルの順位変化による個体関係の動態(伊藤崇)

第2章 環境文化大学の設立研究

第1節 エコ・ユニバーシティ開発 領域

1. 自治体における大学分布と人口・面積の関係(羽場睦美)